

## 第5回東京都市圏パーソントリップ調査（交通実態調査）の 集計結果について

平成21年11月30日（月）  
都市・地域整備局  
（関東地方整備局と合同発表）

東京都市圏交通計画協議会（※）では、平成20年10月から11月にかけて「人の動き」を調査する「第5回東京都市圏パーソントリップ調査（交通実態調査）」を実施し、約34万世帯、約73万人の方から調査票を返送いただきました。調査対象者の皆様にはご協力いただき、誠にありがとうございました。

この度、調査データの拡大集計結果の概要がまとまりましたのでお知らせします。

※ 東京都市圏交通計画協議会の構成団体（国土交通省関東地方整備局、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、独立行政法人都市再生機構、東日本高速道路株式会社関東支社、首都高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社東京支社）

### <集計結果概要>

平成10年に実施した調査結果と比較すると今回の特徴は以下の5点です。

- ①都市圏全体のトリップ数（移動量）は、都市圏人口の増加に伴い約7%増加。
- ②1人1日当たりの平均トリップ数（生成原単位）は高齢者のトリップ数の増加に伴い増加傾向。
- ③目的別構成率は外出先からの私事活動が大きく増加
- ④平均移動時間は増加傾向。特に業務活動、私事活動で増加傾向が大きい。
- ⑤代表交通手段別分担率は、自動車利用率が減少し鉄道利用率が増加。地域別では都市部で、目的別では通勤、業務でその傾向が見られる。

なお、自動車利用の変化については、都心部の人口増加、鉄道整備の進展や調査時期がガソリン価格の高騰期にあったことなどの影響が考えられます。今後これらの社会経済状況を精査し、分析を行う予定です。

### <調査データの貸し出し>

平成20年パーソントリップ調査現況データの貸し出しは11月30日より開始します。貸し出し方法等の詳細については、東京都市圏交通計画協議会ホームページをご覧ください。

【東京都市圏交通計画協議会ホームページ】

東京都市圏

検索

ホームページアドレス：<http://www.tokyo-pt.jp/>



### 問い合わせ先

国土交通省 都市・地域整備局 都市計画課	TEL 03-5253-8411
都市計画調査室 課長補佐	福本 仁志
東京都市圏交通計画協議会 事務局	TEL 048-600-1330
国土交通省 関東地方整備局 企画部 広域計画課長	市川 広志